

2018日本ID陸上競技選手権大会(WPA 公認申請中)開催要項

1. 目的 この大会では、スポーツを通じお互いを尊重し、理解しあいながら共に支え合い、又競い合うことによって障がいのある人もない人も共に輝くことを目指し、知的障がい者の陸上競技の競技力向上を図るため、国際規則に則った高レベルの選手による競技会を開催し、2020年の東京パラリンピックへ向けて育成をはかる。また、知的障がい者の競技スポーツへの志向意欲をより高めると共に、広く社会参加への促進に資することを目的とする。
2. 名称 2018日本ID陸上競技選手権大会
3. 主催 特定非営利活動法人日本知的障がい者陸上競技連盟
4. 主管 2018日本ID陸上競技選手権大会実行委員会
5. 競技運営協力 一般財団法人岐阜陸上競技協会
6. 後援 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会
(予定) 公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター
公益財団法人日本知的障害者福祉協会 全国手をつなぐ育成会連合会
全国知的障害者特別支援学校校長会 岐阜県 一般社団法人岐阜県障がい者スポーツ協会
7. 協賛(予定) ミズノ(株) 大塚製薬(株) AIU 保険会社 (株)グロリアツアーズ (株)城山
8. 協力 岐阜県障害者陸上競技協会 岐阜県障害者スポーツ指導者協議会 千葉県山武市
9. 期日 受付・公式練習：平成30年8月3日(金)、
8月4日(土) 開会式：10時 競技開始：11時(16時30分終了予定)
8月5日(日) 競技開始：10時(16時終了予定)
10. 会場 岐阜メモリアルセンター長良川競技場
〒502-0817 岐阜市長良福光大野 2675-28 Tel.058-233-8822
(JR岐阜駅・名鉄岐阜駅からバス20分)
11. 競技種目(参加はリレーを除き一人2種目以内とする。)
(1) 選手権クラスとチャレンジアスリートクラスを設ける。

| | | |
|---------------|-------|---|
| 選手権クラス | トラック | 100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m(男子) 400mH、3000mSC(男子)、4×100mR、4×400mR |
| | フィールド | 走幅跳、走高跳、三段跳、砲丸投、やり投、円盤投 |
| チャレンジアスリートクラス | トラック | 100m、200m、400m、800m、1500m、5000m |

12. 参加者及び出場資格 (※大会の出場選手は次の全ての条件を満たす者とする。)
 - ・平成30年4月1日現在、15歳以上の知的障害者。
ただし、15歳未満の選手で出場を希望する者は、次世代選手発掘のため、都道府県、都道府県障がい者スポーツ協会及び都道府県障がい者陸上競技協会から推薦により、出場を認める。
 - ・厚生事務次官通知(昭和49年9月27日厚生省発児第156号)による療育手帳の交付を受けた者。または、公的判定機関でIQ75以下の判定を受けた者。
 - ・平成30年度日本知的障がい者陸上競技連盟登録者。
※未登録の方は、随時当連盟ホームページからダウンロードし、登録をしてください。
 - ・上記の資格を有していて、尚かつ別記参加標準記録を超えた記録保持者を出場資格者とする。
2017年以降の当連盟が主催・共催・後援する大会、WPA公認大会、全国障害者スポーツ大会、都道府県陸上競技協会主催大会、その他の大会において、同等あるいは上回る記録を有する者。ただし、選手権クラスにエントリーする選手は、記録を有することを明確にするため、参加標準記録を突破した証

明書類を提出すること。2017年以降の当連盟が主催・共催・後援する大会、WPA公認大会、全国障害者スポーツ大会については不要。都道府県陸上競技協会主催大会、その他の大会の場合は、陸上競技協会が発行する記録証明書等と開催要項を提出すること。

・選手権クラスは、WPAルールにより開催されるため、エントリー数の関係で競技運営上困難が生じた場合は、参加資格を有する競技者であっても参加が制限されることがある。その場合、出場申込書にある突破記録が優先される。

制限人数を超えた場合、エントリー締め切り後に対象選手の申込者へ連絡する。

対象選手は、チャレンジアスリートクラスに出場することができる。

多く送金された参加費については、申込者へ返金する。

13. 参加料 選手権クラス 一人6,000円、チャレンジアスリートクラス 一人3,000円

14. 競技規則 2018WPA競技規則及びIAAF競技規則、平成30年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項に準じて実施する。

15. ドーピング検査 ドーピング検査を実施しますので、アンチ・ドーピングについて十分理解してください。使用禁止薬物の使用については、重大な罰則が科せられます。

日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

また、検査対象になった場合、選手の事情で検査時間が延長したために、予定した交通機関を利用できなくなった場合の費用負担は、日本アンチ・ドーピング機構、および大会主催者で対応することができないため、移動チケット等の手配の際には十分注意すること。

未成年者の選手の方は、ドーピング検査に係る親権者の方の合意書の提出が必要になります。詳しくはホームページ・選手登録にてご確認ください。

16. 表彰 選手権クラスのトラック種目は予選あるいは準決勝を経て決勝を行い、第1位には選手権章メダル、第2位・第3位にメダルを授与、第8位までを表彰する。フィールド種目は予選記録上位8名による決勝を経て、第1位に選手権章、第2位・第3位にメダルを授与、第8位までを表彰する。なお、全種目とも出場者が8名以下の場合予選は行わないものとする。

チャレンジアスリートクラスに出場の選手には、選手受付にて記録証をお渡しいたします。

17. 参加申し込みと申し込み先 申し込み期間（平成30年5月1日～6月20日）

〒289-1313 千葉県山武市上横地268-10 日本ID陸上競技選手権大会事務局 行

『日本ID陸上出場申込書在中』と封筒にご記入ください。

携帯 080-4429-1672 FAX 0475-82-0179

E-mailアドレス jidaf.jimukyoku@yd6.so-net.ne.jp

・92円切手を貼った返信用封筒（長312cm×23cmの大きさの封筒）に本人又は、申し込み責任者宛の住所、氏名を記入の上同封する。なお、5人を超える申し込みの場合は、120円切手を貼り、定型外の封筒を用いること。

・所定の申込書（様式イ、ロ、ハ、ニ）に、必要事項を記入し、誓約書とともに6月20日（水）までに必着の上、申込先に送ること。所定の用紙が不足の場合はコピーをして用いる事。

※エントリーの誤入力を防ぐため、郵送とともに、できるだけ申込書をE-mailで送信下さい。

・大会参加料及び連盟登録料は郵便振替で6月20日（水）までに下記へ送金すること。

- ・大会参加料は、12の場合を除いてはいかなる理由があろうとも返金しないので、注意すること。

送金先 大会参加料・連盟登録料（未登録者）

郵便振替 〇〇120-1-567047

加入者名 特定非営利活動法人日本知的障害者陸上競技連盟

通信欄に、大会参加料____人分、連盟登録料____人分とご記入ください。

18. 個人情報の取り扱いについて

- (1)主催者は、個人情報の保護に関する法令及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会出場の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に使用する。
- (2)大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者または主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

19. 国際大会派遣強化指定選手の希望につて

この大会のエントリーは、当連盟強化指定選手選考のための条件になります。また国際大会派遣等に伴う選手の推薦資料の一部とします。強化指定選手や国際大会出場を希望される場合は、様式イ、ハの大会参加申込書のⅢ欄に○を記入ください。強化指定選手は、別に公表する強化選手指定基準により選考します。

選考された選手には、8月に静岡県裾野市陸上競技場にて開催する強化合宿に招集します。

20. その他

- (1)選手権クラスについては、WPA公認として実施する。(公認申請中)
- (2)IPCライセンス登録および国際クラス分けステイタスがCまたはRの選手の記録はWPA公認記録となる。ただし、すべての選手を対象に日本記録は公認される。
- (3)フィールド競技（走高跳を除く）で8人を超える競技者が競技を行う場合には各競技者は3回の試技が許される。その中で上位の有効な成績を得た競技者8人には、さらに3回の試技が許される。競技者が8人以下の場合には、各競技者に6回の試技が許される。
- (4)プログラムとナンバーカードは、8月3日（金）午後3時から、8月4日（土）・5日（日）午前9時より陸上競技場正面玄関競技者受付にて配布する。
- (5)招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。
- (6)申込み後の参加種目の変更は、一切受け付けない。
- (7)複数の種目にエントリーをする競技者は、競技運営の関係で競技時間が近接したり、同じ時間になる場合があることを理解してエントリーすること。（トレック種目とフィールド種目、あるいは複数のフィールド種目にエントリーした場合）
- (8)100m・200m・400m・400mH・800m・1500mについては、予選を行う場合がある。
- (9)今大会では大会の権威と運営の円滑を期するため、棄権については国際規則を適用し、極力避けること。やむを得ず棄権する場合は、次の要領で申し出ること。

申込後止むを得ぬ事情で棄権する場合は、別紙『棄権届』に記入し大会事務局に提出すること。当日やむなく棄権する場合は、棄権届（大会本部に用意）に必要な事項を記入し、出場する競技の開始2時間前までに大会本部に提出すること。最初の出場種目を届けなく棄権した者は、それ以降の出場種目も棄権したものとみなす。また、招集に遅れた場合もこれに準ずるので十分注意すること。

- (10)練習会場は、8月3日(金)午後2時から4時30分、大会当日は開門から競技開始30分前までは、トラック・フィールドを全面使用できる。大会当日はサブグラウンドを使用できる。

- (11)リレーのオーダー用紙は招集所にて配布し、第1組目の招集開始の1時間前までに招集所へ提出する。
- (12)スパイクのピンの数は11本以内、長さは全天候型9mmを超えてはならない。また、走高跳、やり投げの場合は12mmを超えてはならない。これらのスパイクのピンの直径は先端が4mm以内でなければならない。
- (13)5000m、10000m競走には5000m男子20分以内、女子28分以内、10000m50分以内の制限タイムを設けているため、競技中に制限タイムを超えた場合は、競技の途中であっても審判により競技を中断する。記録は途中棄権とする。この種目にエントリーする競技者は、このことを十分承知してエントリーすること。
- (14)400mまでのトラック競技はスターティングブロックを使用しなければならない。
- (15)スターティングブロックのセッティングや走幅跳、走高跳の助走のマーキングについては、競技者ができない場合は招集所に位置を示す図を提出することにより、競技役員が競技者に代わり行うこととする。
- (16)スタート時のフライングについては、不正出発は1回目で失格となることを選手は十分理解しておくこと。
- (17)健康や安全管理については引率者の責任において十分配慮し、事故の無いよう心がける。特に次の点には注意をお願いします。
- ア. 事前に参加者に健康診断を受けさせるなど、大会参加に支障がないか確認しておくこと。
 - イ. 大会当日、参加者の体調が競技の参加に問題がないか再度確認すること。
 - ウ. 競技開始前の準備体操を各チーム責任で入念に行うこと。
 - エ. 傷害保険には主催者側が加入し、ケガによる傷害のみ以下の範囲で補償する。
補償内容 死亡・後遺障害2,000,000円 入院1日3,000円 通院1回2,000円
 - オ. 大会中に生じたケガ等の応急処置は主催者側で行うが、以後の責任は一切負わない。
- (18)正式な競技日程・受付票等、大会に関する詳細は、競技者より送付された本人宛の封筒を用いて、大会事務局より送付を行う。エントリー入力の誤り等、こちらの不備がありましたら、ご連絡ください。また、7月23日(月)までに、届かない場合は事務局へ連絡をすること。
- ※大会情報は、ホームページでご確認ください。

21. コーチミーティングの開催

8月3日(金)午後3時から陸上競技場会議室にて、ルール確認、ドーピング検査等の説明を行う。

大会情報など、ホームページにてご確認ください。
<http://www.jidaf.org/>

2018日本ID陸上競技選手権大会事務局
〒289-1313 千葉県山武市上横地268-10
携 帯 080-4429-1672 F A X 0475-82-0179
E-mail アドレス jidaf.jimukyoku@ydg6.so-net.ne.jp